

一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group



第一生命 アニュアルレポート

ANNUAL REPORT

2023

第一生命の理念体系

日本、そして世界の国と地域で。
「一生涯のパートナー」として一人ひとりのお客さまに
それぞれの安心をお届けするために。

Mission

私たちの存在意義

「一生涯のパートナー」
お客さま第一主義

Vision

私たちの目指す姿

安心の先にある
幸せへ。

Values

私たちの
大切にしている価値観

グループ企業行動原則
(DSR憲章)

Brand Message

理念体系を支える
私たちの想い

いちばん、人を考える

目次

- | | | | |
|----|-------------|----|--------------------------|
| 01 | 理念体系 | 11 | 特集「すべての人々の幸せを守り、高める。」ために |
| 03 | 社長メッセージ | 12 | お客さま一人ひとりに寄り添ったコンサルティング |
| 05 | 第一生命の「これまで」 | 13 | 最適なライフプランの提供 |
| 07 | 第一生命の「今」 | 15 | 保障にとどまらない価値の提供 |
| 09 | 第一生命の取組み | 17 | 地域とのつながり |
| | | 19 | 持続可能な社会の実現のために |

ビジョン「安心の先にある幸せへ。」に込めた想い

私たち第一生命は、1902年の創業以来、生命保険事業を通じて、安心をお届けしてきました。人生100年時代を迎え、また一人ひとりの価値観が多様化する今、もっと私たちにできることがあるはずと考えました。

それは、生命保険の枠を超えて、一人ひとり違う幸せの実現に向け、お客さまの日々の暮らしや人生を豊かにするために、これまで以上に寄り添うこと。

安心の先にある、笑顔、夢、希望があふれる毎日を過ごせるように。

創りたい未来に向けて、自分らしく前向きに生きられるように。

だからこそ私たちは、一人ひとりの幸せのため、保険会社として提供してきた万が一の「保障」を磨き続けるだけでなく、「健康・医療」、「資産形成・承継」、さらには、人と人、人と地域や社会との新しい「つながり」で、お客さまの「クオリティ オブ ライフ(QOL)」向上に貢献していきます。

私たちは、「いちばん、人を考える」会社であり続けたい。

お客さまのために、地域のために、社会のために。

「一生涯のパートナー」として、できることを、まっすぐに。



第一生命グループでは「Protect and improve the well-being of all(すべての人々の幸せを守り、高める。)」をグループビジョンとして掲げ、将来にわたって、日本、そして世界の国と地域の全ての人々が世代を超えて安心に満ち、豊かで健康な人生を送るための「well-being(幸せ)[※]」に貢献し続けられる存在でありたいと願っています。また、すべての人々の幸せは、持続的社會があってこそ実現するものと考えています。

※世界保健機関(WHO)は、well-beingを「肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること」と定義しており、当社グループも世界中の一人ひとりが、安心に満ち、豊かで健康な人生を送り、幸せな状態であるよう、事業を通じて貢献していきます。

グループの理念体系の詳細はこちら



21 第一生命の社会貢献事業

22 お客さまから選ばれ続ける会社を目指して

編集方針

第一生命では、保険業法第111条に定められた「業務および財産の状況に関する事項」とともに、お客さまに向けた第一生命の取組みを一冊にまとめ、「第一生命アニュアルレポート」として発行しています。掲載内容を補足する情報は、当社ホームページ(<https://www.dai-ichi-life.co.jp/>)で公開しています。併せてご覧ください。

報告対象範囲

- 対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日
(一部2023年4月1日以降の活動を含む)
- 対象組織 第一生命保険株式会社
- 発行時期 毎年7月に発行

お客様の“安心の先にある幸せ”を 実現するために



第一生命保険株式会社
代表取締役社長

隅野俊亮

平素より、当社社業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年4月より第一生命の社長に就任した隅野俊亮です。

当社がお客さまお一人おひとりの「一生涯のパートナー」として、これからも皆さまに選ばれ続ける会社となるよう全力を尽くす所存ですので、何卒よろしく願いいたします。

1902年の創業以来、当社が永らく営んできた生命保険事業は、商品やサービスのかたちは時代と共に変化・多様化してきましたが、その本質は変わりません。機能論で語るならば、それは「万が一やご病気などの際の経済的な保障」ですが、人々の人生や暮らしに深く根差したこの事業の本質は、人が幸せを願い、未来を想い、次の世代に夢を託すための、「希望の絆」をお届けすることだと私は考えています。そのために、私たちはこれまでもそしてこれからも、高い使命感を持ってお客さまお一人おひとりに寄り添い、安心をお届けし続けてまいります。

昨今では、さまざまな生き方・価値観が尊重されるようになり、さらには「人生100年時代」と呼ばれるこれからの社会において、生命保険会社が果たすべき役割はますます大きくなってきています。

私たちはお客さまの「安心」だけでなく、お客さまお一人おひとりが描く「幸せ」を実現するための良き伴走者になりたいとの思いから、ビジョン「安心の先にある幸せへ。」を掲げています。

これらを踏まえ、生命保険による「保障」のお届けを、よりお客さまのお役に立つよう深化させるのみならず、「健康・医療」、「資産形成・承継」の領域への事業の拡大や、人と地域や社会との新たな「つながり・絆」のあり方の探求などを通じて、お客さまや社会の幸せの実現に貢献してまいります。

私たちは現在、新たな挑戦として、日本全国の約3.9万名の生涯設計デザイナーのコミュニケーション・コンサルティングの能力をさらに磨き上げることや、デジタル等の先進技術を活用して、お客さまの日常にもっと寄り添う、あるいは万が一のときなどのサポート力をより高めることなどを進めつつ、こうした挑戦を可能にする組織・体制の整備や人財の育成に取り組んでいます。

また、過去に当社で発生した金銭に関する不正事案を真摯に受け止め、企業風土をより良いものへと進化させるための取組みを進めています。これらを通じ、これからの時代における皆さまの幸せの伴走者として、いちばんお客さまに貢献できる会社を目指して、鋭意努力してまいります。

これからも、私たちはお客さまの“安心の先にある幸せ”の実現に向けて、お客さまや社会から全幅の信頼を置かれる存在となれるよう、引き続き全力を注いでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

社会課題解決への取組みを通じて、 お客さまに「安心」をお届けしてきました

第一生命グループの歴史は、生命保険事業などを通じた社会課題解決への貢献の歴史です。激変する事業環境の中で、お客さまの「生涯のパートナー」であり続けるために、そして社会から信頼され、必要とされる会社であり続けるために、絶えざる変革に挑戦しています。創業以来、日本の発展のために乗り越えなければならなかった各時代の社会課題に向き合い、人々の生活に安心をお届けしてきました。



- 貯蓄性商品による財産形成の補助
- 結核撲滅に向けた貢献



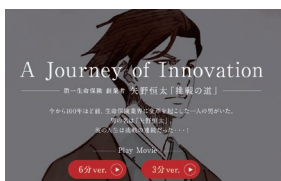
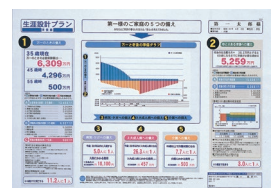
- 業容を拡大するなか、貯蓄性に優れた保険を日本全国で提供し、国民の財産形成を補助
- 当時日本で最も多い死因であった結核の予防・治療を目的に、「財団法人保生会」を設立

- 所得増大、核家族化を背景とした保障商品のご提供
- 公衆衛生、循環器疾患対策への貢献
- 投融資を通じて戦後の復興にも貢献



- 万一に備える保障商品のご提供を通じ、戦後の家計の安定に貢献
- 公衆衛生への貢献や国民病（循環器疾患）対策への貢献活動を開始
- 投融資を通じ、戦後復興を支えるインフラ整備、企業の成長を後押し

- 死亡保障に加え、医療・介護・老後などへの備えをご提供、高齢社会の要請に対応



「A Journey of Innovation」

第一生命保険 創業者
— 矢野恒太「挑戦の道」 —

今から100年ほど前、生命保険業界に変革を起こした一人の男がいた。男の名は「矢野恒太」。彼の人生は挑戦の連続だった・・・！

矢野恒太
特設ページは
こちら



2023年

2020年代～

2010年代～

ライフスタイル・保障ニーズのさらなる多様化
持続可能な社会の実現

- 先端科学技術なども活用した多様な商品・サービスのご提供を通じ、人々のQOL向上に貢献



- 持続可能な社会の実現に向けた国際的イニシアティブへの加盟、温室効果ガス排出量の削減、ESG投資等を通じ、社会課題解決に貢献



発揮し続ける「変革の精神」と「最良の追求」

株式会社化・持株会社体制への移行を経た今でも、創業の志である「お客さま第一主義」を実践し、お客さまニーズの多様化を先取りした国内マルチブランド展開や日本の生命保険会社としていち早く海外事業の展開を図るなど変革に挑戦し続けています。今後も、当社グループの変わらない価値観を継承するとともに、多様な意見・強みを持つ人材同士のシナジーと化学反応を発揮することで、さらなる変革を加速させていきます。

国内保険事業

お客さまの多様化するニーズに適切に対応するために、各商品・チャンネルに強みを持つ5社が補完し合う「マルチブランド・マルチチャンネル」体制を構築



海外保険事業

先進国(安定市場)から新興国(成長市場・アーリーステージ)まで、さまざまな成長ステージの9カ国に展開



その他事業

資産形成を支える高度な資産運用機能の提供



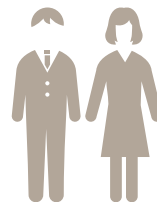
数字で見る第一生命

第一生命の歴史



社員数

約49,100名



営業員(生涯設計デザイナー) 内勤職

約38,600名 約10,500名

総資産

約34兆円



拠点数

支社 92拠点 営業オフィス 1,153拠点



数字で見るお客さまとの接点



個人・法人のお客さまに向けた
幅広い商品ラインアップ



※1 損害保険は損害保険ジャパンの商品を販売。
※2 がん保険はアフラックの商品を販売。

個人保険分野
新契約件数



約7,300件/
1日当たり

コンタクトセンター
受電・発信件数



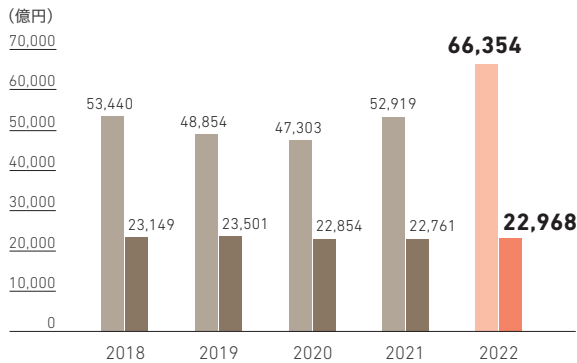
約6,500件/
1日当たり

経営指標から見る第一生命

■ 第一生命グループ ■ 第一生命保険

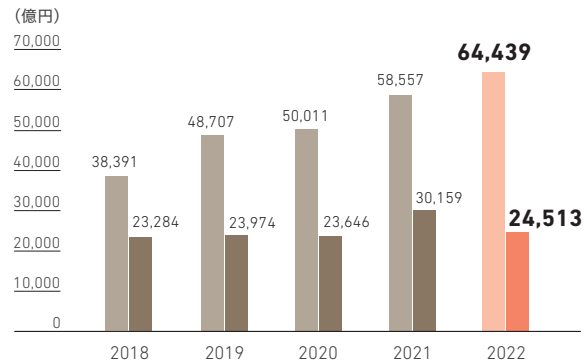
保険料等収入

2兆2,968億円
(グループ: 6兆6,354億円)



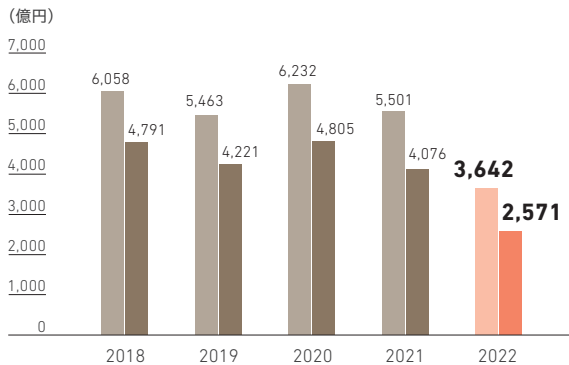
保険金等支払金

2兆4,513億円
(グループ: 6兆4,439億円)



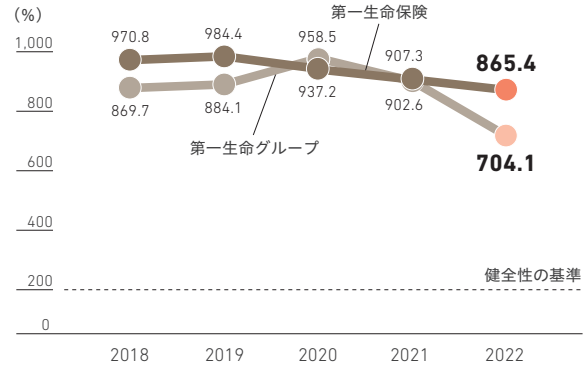
基礎利益

2,571億円
(グループ: 3,642億円)



ソルベンシー・マージン比率

865.4%
(グループ: 704.1%)



2022年度の開示から、為替に係るヘッジコスト、投資信託の解約益および有価証券償還損益のうち為替変動部分の影響に関して、基礎利益の算出方法を変更しています。2021年度の基礎利益は、2022年度における基準を2021年度に適用した場合の数値です。

●基礎利益とは

保険料等収入や保険金・事業費支払等の保険関係の収支と、利息および配当金等収入を中心とした運用関係の収支からなる、生命保険会社の基礎的な期間損益の状況を示す指標で、一般事業会社の営業利益に近いものです。基礎利益は、契約者配当金の支払いや、財務健全性の強化を目的とした各種積立金の積立および法人税等の納付に充てられます。

●ソルベンシー・マージン比率とは

通常の予測を超えて発生するリスクに備えて「支払余力」をどの程度有しているかを示す行政監督上の指標の一つです。ソルベンシー・マージン比率が200%以上であれば、健全性についての一つの基準を満たしていることを示しています。

「確実・迅速」にお受け取りいただくために

当社は、創業以来変わらぬ「お客さま第一主義」の理念に基づき、「お客さま・社会への誓い(第一生命の「消費者志向自主宣言)」として、生命保険にご加入のご契約者さまやそのご家族が万が一の時に、保険金・給付金を確実・迅速にお受け取りいただけるよう全力を尽くしています。

そして、保険金・給付金を確実にお受け取りいただくための態勢を構築するとともに、お客さまに寄り添ったお手続きや、正確・公平なお支払いに努めていきます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症に罹患されたお客さまからのご請求の急増により、通常よりもお支払いに時間を要する状況が続きましたが、保険金支払部門への人員シフト・増員、新入社員の育成カリキュラムに支払業務従事を位置付ける等、円滑なお支払いの維持に全社を挙げて取り組みました。

保険金・給付金・年金等のお支払い実績

社会環境の変化に伴い多様化するニーズに合わせた「保障」のご提供により、3大疾病・身体障害・介護等に備える特定疾病等保険金の生存保障のお支払いが増加傾向にあり、お客さまの「生きていくための保障」としてお役立ていただいています。

また、新型コロナウイルス感染症と診断され、宿泊・自宅療養をされた場合に入院給付金等をお支払いする特別取扱いによるお支払いの急増により、入院給付金等のお支払いが大幅に増加しました。

保険金・給付金・年金等のお支払い状況(2022年度)

近年のお支払いの傾向

死亡・高度障害・
特定疾病等保険金 **5,456** 億円

がん罹患患者数の増加や、3大疾病・身体障害・介護等に備える商品の保障範囲の拡大等により、特定疾病等保険金のお支払いが増加傾向にあります。

入院・手術等給付金 **2,531** 億円

新型コロナウイルス感染症によるお支払いが大幅に増加しました。また、総合医療一時金保険等、公的医療保険の対象となる手術をお支払いする商品のご契約件数の増加により、手術給付金のお支払いが増加傾向にあります。

満期保険金・
生存給付金・年金等 **1兆414** 億円

少子高齢化による公的年金への不安や長生きのリスクへの備えとして私的年金ニーズが高まり、年金のお支払いが増加しています。

合計
1兆8,402 億円

1日当たりの
保険金・給付金・
年金等のお支払い額

約 **50** 億円

デジタルツールを活用したスムーズ・スピーディーな請求手続きの取組み

利便性向上を目的として、「入院・手術給付金のご請求」について、スマートフォンやパソコンからWeb(ご契約者専用サイト)上で手続きが完結するサービス^{※1}、生涯設計デザイナーの使用する営業端末上で手続きが完結するサービス^{※1}を提供しています。

2022年9月には、給付金の支払明細についてご契約者専用サイト上で閲覧できるWeb通知サービス^{※1}を開始しました。この取組みでは、お客さまにWeb通知サービスをご利用いただくごとに全国各地の支社に寄附金を積み上げ、環境保全や地域課題解決に取り組む自治

体等に寄附を行っています。紙の削減により環境にやさしいだけでなく、ご契約者専用サイトからいつでも通知内容を確認できます。さらに本取組みにより地域の団体への寄附にもつながり、環境保全・デジタル活用・地域貢献の3つを実現するサービスとなっています。

今後も、デジタルツールを活用して、保険金・給付金ご請求時の利便性向上、お客さまサービスの向上、環境保全の促進に取り組んでいきます。

^{※1} ご利用には所定の要件があります。

コロナ禍における保険金・給付金のお支払い取組み

●災害関係特約に関する保険金等のお支払い^{※2}

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症により亡くなられた場合には、疾病による死亡保険金のお支払いに加えて、災害関係特約の災害割増保険金等についてもお支払いしてきました。

^{※2} 2023年5月8日以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更されたことからお支払いの対象となる感染症には該当せず、災害割増保険金等のお支払い対象とはなりません。(個人保険・財形保険のお取扱い)

●入院給付金等に対する特別取扱い^{※3}

2020年4月以降、新型コロナウイルス感染症と診断されたお客さまに対して、入院ではなく、宿泊施設や自宅にて医師等の管理下で療養している場合には、約款に定める「入院」として取り扱い、入院給付金等をお支払いする特別なお取扱いを実施してきました。

^{※3} 診断された時期により入院給付金等のお支払い対象が異なります。また、2023年5月8日以降は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類感染症」に変更され、季節性インフルエンザと同様、入院勧告・措置等の対象ではなくなったことから本取扱いを終了しました。

新型コロナウイルス感染症に関わるお支払い状況^{※4}

死亡保険金・給付金	6,193件	約270億円
入院給付金	974,712件	約1,108億円

^{※4} 2020年3月から2023年5月末までのお支払い実績。

保険金部
保険金課
アシスタントマネジャー
木嶋直美さん



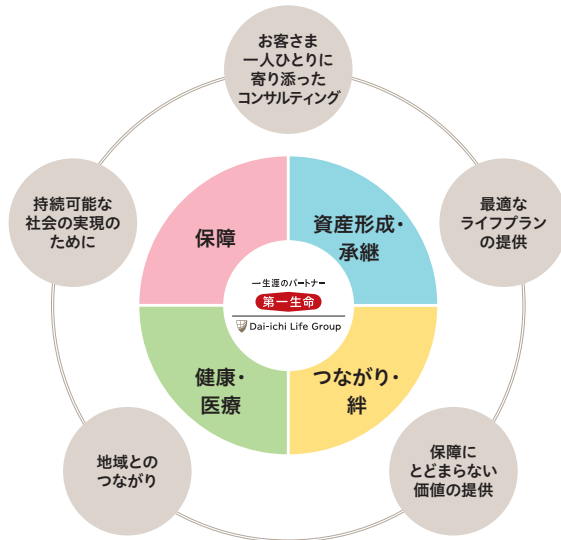


特集

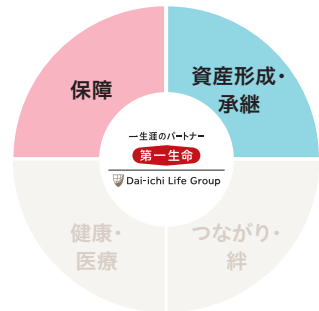
Special feature

「すべての人々の 幸せを守り、高める。」 ために

私たちは、笑顔、夢、希望あふれる毎日と未来のために、
生命保険の枠を超えて一人ひとりのQOL向上に貢献してきました。
2021年度からスタートした中期経営計画「Re-connect 2023」では、
「QOL向上へのサポート」というコンセプトをさらに進化させ、
「保障」「資産形成・承継」「健康・医療」「つながり・絆」の
4つの体験価値へと事業領域を拡げ、
「well-being(幸せ)」に貢献していきます。



お客さま一人ひとりに 寄り添ったコンサルティング



「生涯設計プラン」のリニューアル

2022年7月に、ライフプランシミュレーション「生涯設計プラン」をより分かりやすくリニューアルしました。新しい「生涯設計プラン」では、資産形成などのお客さまの関心が高いテーマに加え、一生涯にわたって準備しておきたいお金について、社会保障制度も踏まえたきめ細やかなシミュレーションが可能となりました。具体的には、下記の3つのカテゴリーでシミュレーションします。

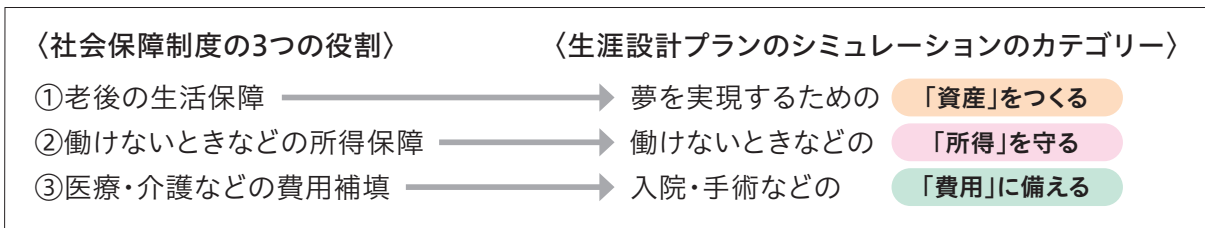
各シミュレーションでは、社会保障制度だけでは不足する部分への「自助」=「保険で備えておきたい必要保障額」を見える化します。

シミュレーションで算出された必要保障額等が商品プランに連動することで、これまで以上にお客さま一人ひとりにぴったりのプラン^{*}をご提示することができます。

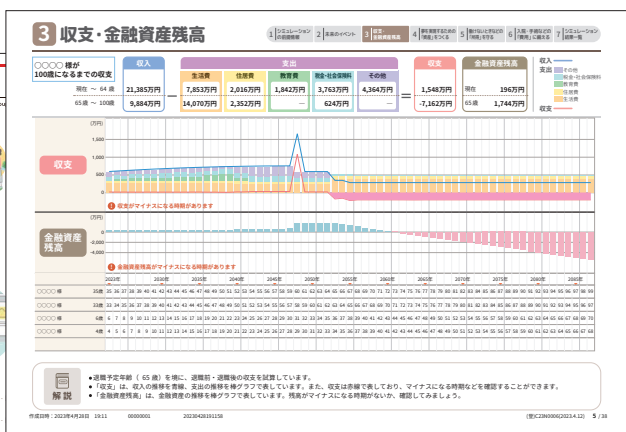
今後も、多様化するライフスタイルに寄り添うコンサルティングを目指して、確かな安心をお届けできるよう取り組んでいきます。

^{*}生涯設計プランのシミュレーションの結果のとおりには保険を設計できないことがあります。

生涯設計教育部
コンサルティング手法開発課
アシスタントマネジャー
森 桜子さん

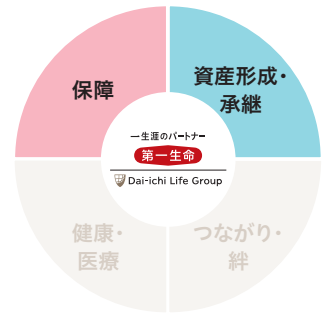


新しい生涯設計プラン



社会保障制度をふまえて、「将来のために準備しておきたいお金」や「もしものときに必要なお金」をシミュレーションできます。担当の生涯設計デザイナーにお声かけください。

(登)C23P0078(2023.7.7)



最適なライフプランの提供

商品ラインアップのリニューアル

新しい「生涯設計プラン」と連動して、2022年7月にお客さま一人ひとりのニーズにきめ細やかにお応えできるよう商品ラインアップをリニューアルしました。

具体的には、万が一の“収入喪失”に備える新商品「家族」所得保障保険を発売しました。また、「3大疾病」「介護・身体障害状態」に対する所得の減少というリスクについて、従来の一体型の保障(特定状態収入保障保険)から、2つの別々の新商品(3大疾病所得保障保険、介護・身体障害所得保障保険)で備えられるようリニューアルしました。保険料もよりご納得いただきやすい水準に見直しました。

今後も多様化するライフスタイル・ニーズを踏まえ、お客さま一人ひとりにぴったりの商品・サービスを提供し、確かな安心をお届けできるよう取り組んでいきます。

2022年7月以降の商品体系

「所得」を守る

就業不能保険
3大疾病所得保障保険
 介護・身体障害所得保障保険
「家族」所得保障保険

「費用」に備える

総合医療一時金保険
 先進医療保険
 女性特定治療保険
 特定損傷保険
3大疾病・介護・身体障害保険
軽度3大疾病・介護・身体障害保険
 認知症保険
 定期保険
 終身保険
 養老保険

「資産」をつくる

個人年金保険
 生存保障重視型個人年金保険
 こども学資保険

※赤文字の商品が2022年7月新商品
 ※経営者向け保険・入院一時金保険(限定告知型)は除く
 ※上記保険の名称は一部を省略して記載しています。
 (例)3大疾病所得保障保険(無解約返還金)2022→3大疾病所得保障保険

個人保障事業部
 個人保障事業企画課
 アシスタントマネジャー
蓮沼 佑典さん



ニューノーマル時代の福利厚生制度に対応した団体保険商品の提供

第一生命では、企業が福利厚生制度として複数の保険商品をパッケージとして導入し、導入した保険商品の中から必要な保障を従業員が自分で選んで加入できる「あんしんマイパッケージ」を2022年7月に発売しました。

「あんしんマイパッケージ」は、「死亡」「入院・手術」「3大疾病」「介護」といった多様な保障ラインアップを一度に準備でき、ニューノーマル社会の中でますます多様化する企業、従業員の

ニーズによりきめ細かくお応えできる商品です。

今後も、多様化するニーズを踏まえた商品やサービスのご提供を通じて、従業員やそのご家族の安心・幸せの実現に貢献していきます。

団体保障事業部
 団体保険商品企画課
 アシスタントマネジャー
牧野 史果さん



「資産形成プラス」を通じた新たな体験価値創出

2023年1月より、第一生命では資産形成ポータルサイト「資産形成プラス」を開始しました。資産形成プラスでは、資産寿命シミュレーション「しさんのしさん」を提供しており、お客さまのライフプランに沿った将来収支の見える化に活用いただけます。また各種コラムを通じ、資産形成をより身近に感じていただけるようなサイトとしています。

加えて、Banking as a Service (BaaS) の仕組みを活用し、スマートフォンアプリにて「第一生命NEOBANK」と「楽天銀行第一生命支店」の提供も開始しています。お客さまに高品質なサービスを提供できるよう、両行同時のサービ

ス展開に至りました。更なる体験価値を創出できるように、今後もサービス拡充を進めていきます。



資産形成プラスの詳細はこちら



資産形成・承継事業部
資産形成・承継デジタル開発課
チーフ
内藤 陸さん

「ミライデコ」で将来に向けた資産形成をサポート

昨今、iDeCo (個人型確定拠出年金) の「加入要件緩和」や政府が掲げている「資産所得倍増プラン」などで資産形成への関心が高まっています。そうした中、第一生命では2022年10月より、iDeCo向けの新プラン「第一生命のiDeCo ミライデコ(以下:ミライデコ)」の取扱いを開始しました。

ミライデコでは、多くのお客さまの資産形成をサポートできるよう、口座管理手数料や運

用商品ラインアップを見直しています。加えて、より簡便にご利用いただけるようWEB完結での申込みを可能にするとともに、ご加入後の運用成果の確認やロボアドバイザー機能、運用指図までをシームレスに行うことができるスマートフォンアプリ「DCのサブリ」の標準付帯も開始しました。第一生命では、今後もお客さまの日常から資産形成をサポートしていきます。

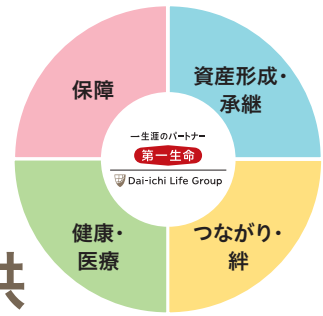


ミライデコの
詳細はこちら



資産形成・承継事業部
資産形成・承継教育推進課
アソシエイト
齊藤 晴菜さん

(登)C23P0078(2023.7.7)



保障にとどまらない価値の提供

QOL向上サイト「ミラシル」

～デジタル空間での日常的なコミュニケーションの実現～

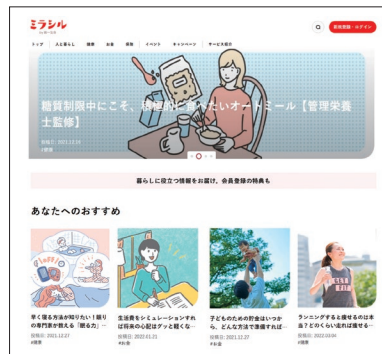
中期経営計画「Re-connect 2023」で目指すCXデザイン戦略[※]の一環として、QOL向上サイト「ミラシル」を運営しています。

ミラシルでは、4つの体験価値(保障、資産形成・承継、健康・医療、つながり・絆)に関する情報コンテンツ、デジタル空間での保険のご相談サービス、協業を拡大しているビジネスパート

ナー企業のサービスなどを、お客さまに最適な方法やタイミングでご提供しています。

また、お客さまにとって「気づく、楽しむ、役立つ」という、より良い体験価値を感じていただけるような展開を進めており、多くのお客さまにご支持いただいています。

コミュニケーションデザイン部
オンラインマーケティング課
アシスタントマネジャー
篠原 遥さん



ミラシルの詳細はこちら



※ お客さまの体験価値(CX)に軸足を置いた戦略

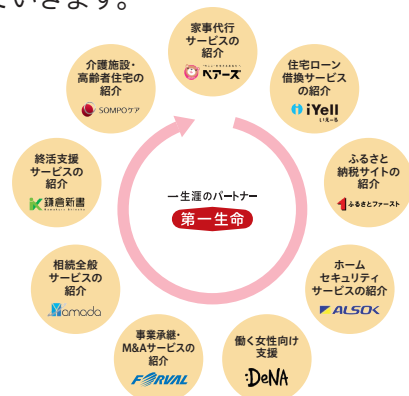
お客さまの幸せに繋がるQOLサービスの拡充

当社は、お客さまのQOL向上につながる新たな体験価値を提供していくことを目的に、金融機関や異業種企業とのパートナーシップの拡大を積極的に進めてきました。一人ひとりの価値観が多様化するなか、生命保険の枠を超えた体験価値をお届けするために、2022年には新たなビジネスパートナーと協業し、「家事

代行」「ふるさと納税」に関するサービスの紹介を開始しました。

今後もビジネスパートナーとの協働・共創を通じて、お客さまのQOL向上と社会課題の解決に貢献していきます。

個人保障事業部
デジタル保険・QOLサービス推進課
チーフ
今道 礼さん



ペット保険(アイペット損害保険)の提供

2023年1月、第一生命ホールディングスは、アイペットホールディングスの子会社化しました。幅広いニーズにお応えできるよう、2019年より生涯設計デザイナーを通して、アイペット損害保険のペット保険を提供してきました。ペットは、人々のQOL向上において、家族や趣味、健康等と並んで重要な存在になっています。そのペットの健康をお守りし、「ペットと人とが共に健やかに暮らせる社会をつくる」という経営理念を掲げるアイペットホールディングスは、当社にとって「つながり・絆」領域における最良のパートナーと考えています。これから

も、ペットを含む家族の皆さまの安心をお届けする生涯設計を目指し、取り組んでいきます。



健康保険組合向け医療費適正化支援サービス「Healstep®」

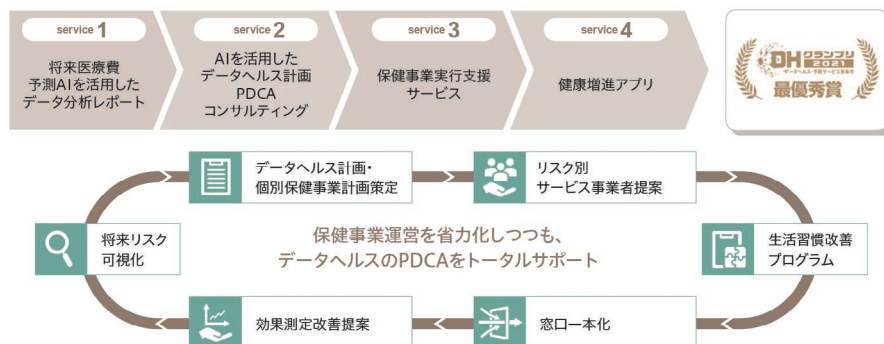
～健康・医療領域取組みを通じた社会課題の解決～

当社グループでは、生命保険事業を通じて万が一の際に経済面で保障するだけでなく、病気の発症や重症化する前の段階から健康維持をサポートすることで健康寿命の延伸に貢献し、人々のwell-being実現に向けて取り組んでいます。

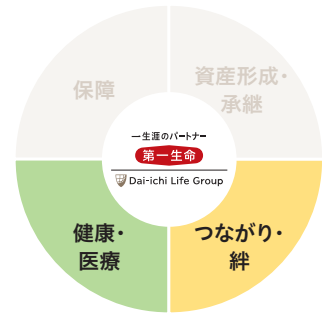
2021年4月からは、将来の医療費適正化や効率的な保健事業運営をワンパッケージで支

援する健康保険組合向けサービスHealstep®(ヘルステップ)を提供しています。Healstep®を導入いただく健康保険組合さまは着実に増加しており、新たに事業主向けにも一部サービスの提供を開始しています。今後も各保険者、事業主のニーズに寄り添ったサービス拡充に取り組んでいきます。

医療費適正化支援サービス「Healstep® (ヘルステップ)」



経営企画部
ヘルスサポート事業開発室
アシスタントマネジャー
今津 匡皓さん



地域とのつながり

自治体との連携

全国47都道府県と結ぶ連携協定等を通じ、地域の課題解決に向けた取組みを実施しています。うち42都道府県とは、多分野にわたる協働が可能となる「包括連携協定」を締結しています。全国の支社・営業オフィスが地域に密着したさまざまな地域貢献活動に取り組んできたことにより、市区町村とのつながりも進展し、330を超える市区町村とも「包括連携協定」を締結（2023年3月末時点）するなど、自治体と連携を深めながら地域に根差した取組みを進めています。



新潟県との包括連携協定締結式

「企業版ふるさと納税(人材派遣型)」の活用

2022年4月より、全国の地域課題解決に向けた取組みとして「企業版ふるさと納税(人材派遣型)」の活用を開始しました。本取組みを通じて、2023年5月1日時点で60の地方公共団体等に63名の幅広い職位の基幹職社員を派遣しています。

派遣した社員は、観光事業促進、子育て支援、地域福祉の向上など、地域の課題解決に向けた業務に従事しており、地域・社会の持続性確保への貢献を目指しています。本制度の活用を通じ、地域・社員・当社との「つながり・

絆」による協働をさらに深化させ、「三方よし」での地域課題解決を進めていきます。



埼玉県川越市との企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用した人事交流協定締結式

地域へのスポーツ振興・教育支援取組みを通じたQOL向上

京都総合支社では、京都のスポーツ振興を目的として2021年11月に、B.LEAGUE所属のプロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」とパートナーシップ協定を締結しています。2022年度には京都府下の小学生を対象に、京都ハンナリーズとのコラボ企画として「小学生バスケットボール教室」を開催しました。福知山市・亀岡市・宇治市・京都市左京区・京都市右京区の5箇所で実施し、計200名以上の小学生に参加いただきました。

また、未来を担う子どもたちの教育支援の一環として、地域の高等学校へ、当社が開発した消費者・金融保険知識をすごろく形式のゲームで学ぶことができる「ライフサイクル

ゲームⅢ～生涯設計のススメ～」の出張授業も継続して定期的に行っています。

今後も地域の皆さまのQOL向上やお役に立てる活動に取り組んでいきます。



小学生バスケットボール教室の開催

岡山県警察と協働し「絵手紙」で特殊詐欺被害防止に貢献

岡山支社では、岡山県警察と協働し、特殊詐欺被害防止啓発活動を2020年度より継続して実施しています。特殊詐欺被害防止を題材にした絵手紙を広く県下に募集し、子どもから大人まで幅広い層の方々に毎年多数ご応募いただいています。2022年度は県内約20の警察署と協力し、多くの場所でチラシを配布し本活動の周知も図りました。

優秀作品は岡山県警察にて表彰式を行い、その後展示会も実施しています。日々の活動のなかで特殊詐欺、子どもを対象とした犯罪状況の情報を地域の皆さまに提供しながら、1人でも多くの方に犯罪防止を意識してもらえる

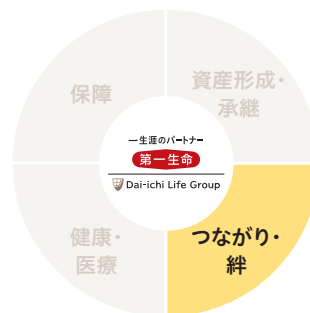
よう、支社一体となって活動しています。

2022年度には特殊詐欺被害防止に功績のあった取組みとして知事表彰をいただきました。今後も岡山県警察と連携しながら特殊詐欺被害撲滅に貢献していきます。



岡山県警察との特殊詐欺被害防止啓発活動

持続可能な社会の実現のために



責任投資を通じた持続可能な社会の実現

当社は、日本全国のお客さまからお預かりした資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、中長期・安定的な運用収益の確保と、地域や社会の重要課題の解決の両立を目指した資産運用を行っています。

なかでも責任投資を資産運用の柱として位置づけ、数あるサステナビリティ課題のうち気候変動への対応を最重要テーマとして認識し、脱炭素社会の実現に向けて挑戦しています。私たちはこれからも、保険商品の提供にとどまらず、社会の課題に向き合い、責任投資の取組みを拡大・進化させ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



※1 ESG投融資とは、定量的な財務情報に加え、環境・社会・ガバナンス(Environment, Social and Governance)の要素を考慮する投資手法

責任投資活動報告の詳細はこちら

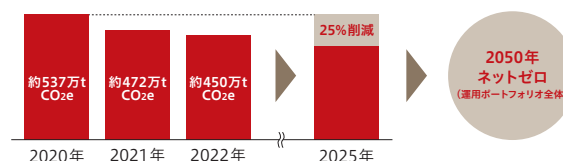


脱炭素社会の実現に向けた責任投資の具体的取組み

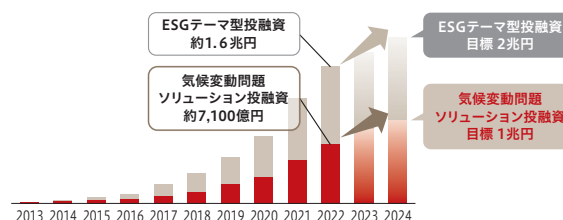
当社は、ネットゼロ・アセットオーナー・アライアンス^{※2}やGFANZ^{※3}などの国際的なイニシアティブへの参画をはじめ、2050年の運用ポートフォリオにおける温室効果ガス(GHG)排出量の実質ゼロを掲げています。グリーンボンドや再生可能エネルギー発電事業等の気候変動問題の解決に資する投融資の拡大に加え、エンゲージメント(投融資先との中長期的な対話)を通じて投融資先の気候変動問題の解決に向けた取組みを後押ししています。

※2 2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロのポートフォリオに移行することを旨とする機関投資家団体
 ※3 金融業界全体の脱炭素化を目指すグローバルな金融機関の有志連合
 ※4 上場株式・社債・不動産ポートフォリオにおけるスコープ1、スコープ2の合計値。上場株式、社債についてはMSCI ESG Research LLCデータより第一生命にて作成。不動産については第一生命にて集計の上作成
 使用ベンダーをS&P Trucost LimitedからMSCI ESG Research LLCに変更したことに伴いGHG排出量実績を修正。なお、S&P Trucost Limitedを使

運用ポートフォリオのGHG排出量^{※4}と削減目標



気候変動問題ソリューション投融資^{※5}実績



用した場合の2022年のGHG排出量は約470万tCO₂e(2020年は約602万tCO₂e)。GHG排出量の中長期削減目標(上場株式・社債・不動産ポートフォリオにおけるGHG排出量について2025年までに25%削減(2020年対比))については変更なし
 ※5 グリーンボンド、再生可能エネルギー発電所関連事業への投融資など、気候変動問題の解決に資する投融資

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」における金賞受賞

当社は、ESG投融資を通じたポジティブ・インパクトの創出に向けて、当社が設定する重点的な社会課題(SDGs:気候変動の緩和、QOL向上、地方創生・地域活性化、自然資本の持続可能性、人権尊重・ダイバーシティ推進)に資する投融資を積極的に推進しています。

2022年度は、「責任投資の中期取組方針」で新たな目標を設定するなど責任投資の更なる高度化に加え、「トランジション・ファイナンス」^{※6}に関する基本的な考え方を策定しました。これらの取組みが評価され、環境省が主催する第4

^{※6} トランジション・ファイナンスとは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略に則り、着実なGHG削減の取組みを行う企業に対し、その取組みを支援することを目的としたファイナンス手法

回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン(投資家部門)」において、二度目となる金賞を受賞しました。



受賞時の表彰状とトロフィー

責任投資の
中期取組方針の
詳細はこちら



トランジション・
ファイナンスに
関する取組方針の
詳細はこちら



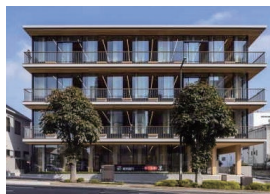
事業活動を通じた脱炭素社会への取組み

当社が事業活動により排出するCO₂削減に向けて、2019年に国内生命保険会社として初めて「RE100」^{※7}に加盟しました。以降、電気需給契約の見直し、オフサイトPPAサービス^{※8}や非化石証書等の環境価値の活用を進め、2022年度、当社事業における消費電力の100%再生可能エネルギー化を実現しました。

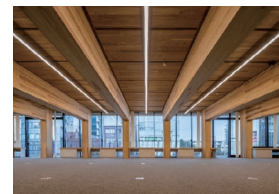
また、2022年9月には、生命保険業界で国内初となる、中層木造オフィス「TDテラス宇都宮」を竣工しました。地産木材活用によるCO₂固定化、建物新築時からのオフサイトPPA

サービス(国内初)および本物件上の太陽光発電設備を組み合わせた再エネ電力調達等により、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

上記取組みにより、社外からの評価(別表)も獲得しています。



TDテラス宇都宮 外観



TDテラス宇都宮 執務スペース

不動産部
不動産開発課
アシスタントマネジャー
加治屋 大空さん



年度	主催団体	評価・受賞内容
2023	日本木材 青年団体連合会	当社開発の木造新築オフィスビル(TDテラス宇都宮)が第26回木材活用コンクール 木材活用賞を受賞
2022	一般財団法人 新エネルギー財団	新エネ大賞:新エネルギー財団会長賞

^{※7} 事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的イニシアティブ

^{※8} 電力需要施設と離れた土地に当社専用の太陽光発電設備を設置し、発電した電気を環境価値と共に電力需要施設に送るというスキームを活用した電力調達の手法

第一生命の社会貢献事業

当社が本業とする生命保険事業は社会性・公共性の高い事業です。本事業を通じて、持続的な企業価値の向上を図るとともに、社会課題を解決することが「第一生命らしい」社会への貢献のあり方であると考えています。

当社ならではのノウハウやリソースの活用など、独自の価値を提供することにより、健康や子どもの教育、環境など、生命保険事業と親和性のある社会課題の解決に挑戦し、全ての世代が生き生きと暮らせる豊かな社会づくりを目指します。

保健文化賞

戦後の衛生環境が悪化していたなか、わが国の保健衛生の向上に取り組む団体・個人に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省などの後援を得て毎年開催し、2023年で75回を迎える、当社において最も長い歴史を持つ社会貢献事業であり、権威ある賞として高い評価をいただいています。

時代ごとのさまざまな課題に継続的に取

り組んでこられた団体・個人を顕彰しており、例年受賞者は天皇陛下の拝謁の栄に浴しています。



第74回 贈呈式の様子

第一生命全国小学生テニス選手権大会

「世界に通用する選手育成のためにはジュニアからの強化が重要である」という日本テニス協会の趣旨に賛同し、1983年の第1回大会より特別協賛するとともに、当社所有のレッドクレーコートを決勝大会の会場として提供しています。2022年度大会で40回を迎えました。



第40回 表彰式の様子

都市の緑3表彰

第一生命財団とともに、「都市の緑3表彰」(緑の環境プラン大賞、緑の都市賞、屋上・壁面緑化技術コンクール)を支援しています。本賞への支援を通じ、都市環境の保全・再生や、地域コミュニティの形成・生活の質の向上に資する緑化取組みに貢献していきます。



第40回「緑の都市賞」内閣総理大臣賞
恵庭市 ガーデンシティえにわ(北海道恵庭市)

お客さまから選ばれ続ける会社を目指して

当社は、お客さまから選ばれ続ける会社を目指して、お客さま志向の取組みを強化し、お客さまや社会からのさらなる信頼や信用につなげていきたいと考えています。

「一生涯のパートナー」として、これからも生命保険を通じた「安心」のお届けと、その先にある「幸せ」の実現に向けて取り組んでいきます。

主な取組み

お客さま・社会への誓い(第一生命の「消費者志向自主宣言」)

当社は、お客さま・社会からの負託に応える営業員体制を実現すべく、よりお客さま・消費者視点での活動の実現に向けて取り組んでいます。「お客さま第一」の理念を大前提として2021年に改正した「消費者志向自主宣言」を全役員・従業員の「心・行動のよりどころ」として胸に刻み、日々の業務に努めています。

また、この「お客さま・社会への誓い」に基づき、お客さまの声を経営に活かす取組みの強化やサービス向上などに全社を挙げて取り組んでおり、「お客さまの声」を起点としたたゆまぬ改善取組みを実践し、「お客さま第一」につながる業務の品質向上に活かしています。

「消費者志向自主宣言」
の詳細はこちら



消費者志向経営 **お客さま・社会への誓い** (第一生命の「消費者志向自主宣言」)

「一生涯のパートナー」として、
保険の販売にとどまらず、人々の幸せの実現をお手伝いすること。
それが第一生命の存在意義です。

- 私たちは、常に学び、成長し続けることで、お客さまや自分の課題に勝って得られる仕事をします。
 - ・私たちは、お客さまや社会のために正しいと思うことを誠心誠意考え、社会を構成する一員として高い倫理観をもって行動します。
 - ・私たちは、お客さまとお客さまの大切な人々の暮らしを支える生命保険の意義・役割を自覚し、自らの仕事に誇りをもって取り組みます。
- 私たちは、お客さまの望まない商品・サービスは提供しません。
それは、常にお客さまの声を聞き、気持ちに寄り添い、共に考えることを大切にしているからです。
 - ・私たちは、お客さまが強く「生涯設計」を把握したうえで、最適なプランをご提案します。
 - ・私たちは、ご契約のめりならず、ご契約後もお客さまが可能な時に、必要なフォローし続けます。
- 私たちは、お客さまに後悔しない選択をしていただくため、デメリット情報も積極的にお伝えします。
 - ・私たちは、自分自身が取りたいと思うことを、お客さまへ伝えるべき情報と考え、誠実にご説明します。
 - ・私たちは、商品を比較検討できる形で提案し、お客さまに十分にご理解・ご納得いただけるまで、何度でもわかりやすくご説明します。
- 私たちは、保険金・給付金を確実に受け取りいただけるよう力を尽くします。
 - ・私たちは、ご契約時から、万一のときの確実なお受け取りを想定したアドバイスを行い、ご契約後も請求届けが起きないよう定期的にフォローします。
 - ・私たちは、保険金・給付金の「確実・迅速」なお受け取りに向け、丁寧でわかりやすいご案内・お手続きを徹底します。
- 私たちは、お客さま・社会あつての企業であることを忘れず、社会として未来への責任を果たします。
 - ・私たちは、「良き企業市民」として、地域と協働して、持続可能な社会の実現に貢献します。
 - ・私たちは、従来の保険会社の枠を超え、さまざまな活動をを通じてお客さまに寄り添い、地域・社会のために将来にわたりお役に立つ存在になることを目指します。

2021年9月15日改正

確かな安心のお届け

「生涯設計プラン」をリニューアルし、お客さまのライフプランや社会保障制度等に基づくコンサルティングを充実させることで、よりお客さまのニーズに沿ったご提案に努めています。

ご契約後は、年1回ご契約者さまにお届けする、ご加入の保険の内容等を記載した「生涯設計レポート」を送付しています。「生涯設計レポート」の到着等にあわせて、生涯設計デザイナーが「3つの点検」を行う「安心の定期点検®」の活動をお客さまのご意向に沿って対面・非対面で実施しています。

【3つの点検】

- ①ご契約内容の確認
- ②保険金・給付金等の支払内容の確認
- ③ご登録内容(連絡先、家族情報等)の確認

また、保険金・給付金を確実・迅速にお受け取りいただくための態勢を構築しており、今後もデジタルツールを活用して、お客さまに寄り添ったお手続きや、正確・公平なお支払いに努めていきます。



一生涯のパートナー

第一生命

 Dai-ichi Life Group



第一生命グループのロゴに込めた思い

古代西洋の「盾」のフォルムに「地球」を表すデザインを加えることで、グローバルに展開する第一生命グループ会社が一丸となって、お客さまを災厄からお守りするという意思を表現しています。加えて、地球の緯線においてゆるやかな右肩上がりのカーブを表すことで、お客さまの明るく輝かしい未来と、お客さまの「一生涯のパートナー」であり続けるために成長していく第一生命グループを表しています。

第一生命保険株式会社
〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1
03(3216)1211(大代表)